

平成28年度行政評価シート【個表】

平成 28 年 6 月 28 日

評価対象事業	評価者	高齢者いきいき課担当課長 小宮 純	
健福-25 老人センター等管理運営事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	高齢者いきいき課
	<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	健康福祉	施策の方針
			地域生活の支援サービス

1 事業の目的

対象	高齢者(市内に住所を有する60歳以上の者)
意図	健康増進、教養の向上、レクリエーションのための機会を供与するため。
効果	外出やコミュニケーションによって、高齢者の健康的で明るい、生きがいのある生活を実現する。

2 平成27年度に実施した事業の概要

名越やすらぎセンター、教養センター、今泉さわやかセンター及び玉縄すこやかセンターの管理運営業務を指定管理者に委託した。
各センターの施設修繕を行った。
施設廃止となった老人いきいきの家「こゆるぎ荘」の解体工事を行った。
指定管理者を選定するため、委員会を設置し、審査した。

3 事業費等基礎データ

データ区分	26年度決算		27年度決算		28年度当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	177,464人	80,368世帯	177,243人	80,676世帯	176,869人	80,928世帯	・各年3月31日 (住民基本台帳)
事業の対象者数							
事業の対象者数							
運営資源状況	決算値(千円)	190,842	182,092	当初予算(千円)	181,207		
	国県支出金			国県支出金			
	地方債			地方債			
	その他	18	18	その他	18		
	一般財源	190,824	182,074	一般財源	181,189		
	人員配置数	0.8	0.8	人員配置数	0.8		
事業経費運営	人件費(千円)	6,122	6,261	人件費(千円)	6,300		
	総事業費(千円)	196,964	188,353	総事業費(千円)	187,507		
	市民1人当りの経費(円)	1,110	1,063	市民1人当りの経費(円)	1,060		
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)			

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	3. 十分な成果が出ている
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入 △-1. 今は受益者負担を求めているが、今後、負担の導入を検討する必要がある
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施 △-2. 市民等と協働して事業を実施することはできない
		協働実施済の場合のパートナー

事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒	見直しの種類	<input type="checkbox"/> 拡大	見直しの内容	事業へ統合
	<input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする		<input type="checkbox"/> 縮小		
	<input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する		<input type="checkbox"/> その他		
	<input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒				
予算規模の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	腰越地域の老人福祉センターを整備中であるが、このセンターが開設されると一施設分の管理運営費が必要となるため、開設に合わせ予算を拡大する。		
	<input type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする				
	<input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する				

総評(評価に対する考え方、根拠等)

計画的な修繕を実施し、施設の長寿命化を図る。利用者ニーズを取り入れた施設運営に努め利用者数の増加に努める。
28年度から5年間を委託する指定管理者を選定するにあたり、経費削減のための提案、健康寿命延伸や他世代との交流機会創出といった新たな課題に対する事業の提案を行われた。

平成27年度事業実施にあたっての課題(前年度未解決の事項を含む)	各センターは、築20年から築40年経過しており、老朽化が進み、各所に損傷が生じているが、限られた予算の中で対応せざるを得ず、老朽化対策の計画的な取り組みが課題である。 平成28年度から5年間の指定管理業務委託事業者の選定を行うにあたり、仕様の見直しを図る。	
課題解決のために行った平成27年度の取組	指定管理者の選定を行うにあたり、経費削減のための提案、施設の延命化を含む管理運営に関する提案、健康寿命延伸や他世代との交流機会創出といった新たな課題に対する事業提案を行なった。	<input checked="" type="checkbox"/> 解決 <input type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	各センターは、築20年から築40年経過しており、老朽化が進み、各所に損傷が生じているが、限られた予算の中で対応せざるを得ず、老朽化対策の計画的な取り組みが課題である。利用者ニーズにあった施設運営をめざし、利用者増加に努める。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項										
団体名	鎌倉市									
他市実績										
比較事項										
団体名	鎌倉市									
他市実績										
比較事項										
団体名	鎌倉市									
他市実績										
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方										

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	老人福祉センター利用者数					単位	人	指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
利用者数の推移の把握	目標値									
	実績値	146,362	132,827							
	達成率									
指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
	目標値									
	実績値									
	達成率									
指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
	目標値									
	実績値									
	達成率									
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方										

● 事業に関する特記事項

<input type="checkbox"/> 第3期基本計画前期実施計画重点事業	<input type="checkbox"/> 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
--	---